



# SCOUT CHIBA

## スカウト ちば

平成22年度の目標  
広めよう!  
スカウティングの  
楽しさをみんなに

発行：日本ボーイスカウト千葉県連盟

運動拡大委員会

発行責任者：小川 信一

編集長：上野 孝

〒263-0016 千葉県稲毛区天台6-5-2 千葉県青少年女性会館内

TEL 043-287-1755 FAX 043-287-1786

<http://www.scoutchiba.jp/>

	回数		隊数		団委員		指導者		スカウト		その他		計		ビーバー (BVS)			カブ (CS)			ボーイ (BS)			ベンチャー (VS)			ローバー (RS)																	
	登録数	前年度末数	指	ス	指	ス	指	ス	指	ス	指	ス	指	ス	指	ス	指	ス	指	ス	指	ス	指	ス	指	ス	指	ス																
	115	117	544	552	1,410	1,519	2,121	2,287	4,867	5,522	2	3	8,400	9,331	109	111	400	450	610	880	115	116	824	924	1,386	1,598	114	115	489	504	1,432	1,494	113	116	263	269	848	926	93	94	145	140	591	624

[加盟登録状況]平成22年8月末日現在



## 第15回日本ジャンボリー開催

# 世界に向かって、でっかく羽ばたけ!

## 一生の思い出に残る体験を有難う

スカウトの皆さん第15回日本ジャンボリーは如何でしたか。大いに楽しむことが出来ましたか。

千葉県連盟では一年前に実行委員会を立ち上げ準備をしてきました。県連盟からはおおよそ200人の指導者が君たちをサポートしてくれました。

国内外から小学6年生から高校3年生の年代まで、約20,000人が参加しました。富士山のふもとの豊かな自然の中で8月1日の入場から9日の退場までキャンプ生活を通じて食の安全、環境問題を学びつつ全国の仲間たちだけではなく、世界の仲間とも触れ合いましたか?仲間になりましたか?そして「でっかく成長」して帰ってきましたね。

8月2日の午後は前半最大イベントである



開会式が行われましたが、あいにくの雨でしたね。それでも皇太子殿下のご挨拶のころには富士山が顔を出すほど



ジャンボリー会場を訪れた、岡田 武史サッカー日本代表監督。ご自身もかつてはスカウトでした。

に天候は回復しました。皇太子様のお言葉は「第7回大会以来、会場を訪れています」「第2回日本ベンチャー大会ではスカウトの皆さんとともに富士登山に参加したことを貴重な体験として懐かしく思い出しています」などとボーイスカウト運動にご理解と絆の深さを語られました。

続いて奥島大会長(日本連盟理事長)の開会宣言に始まり、地元の川勝知事(静岡連盟連盟長)の歓迎の言葉、代表スカウトの開会宣言で幕を開けました。

8月5日は大会最大のイベント大集会です。見学のスカウトを加え2万4千人が参加し、サッカー日本代表の岡田監督の「スカウト時

## 千葉県連盟第15回日本ジャンボリー 派遣実行委員長兼派遣団長 伊藤 知

代に培ったスカウト精神を実践した「采配」で勝つことが出来たとのあいさつに会場は大歓声となりました。

宇宙飛行士の野口さんのメッセージ、ゲストの奥華子さんのライブ歌唱、そしてブロック単位の演技などと最高潮です。そしてあっという間の8日間が過ぎ感動のフィナーレ、会場に残すものは感謝のみ。ありがとうジャンボリー。

我々千葉県連盟からの参加者は総勢930人。それぞれに辛いこと、楽しいこと、いっぱい思い出、色々あったでしょう。しかし、全てが一生の思い出に残る体験となるでしょう。心よりありがとう。



激励に来たスカウトリーダーで宇宙飛行士の野口聡一さん

## 皇太子殿下のお言葉

第15回日本ジャンボリーの開会式に、国内外から参加されたスカウトの皆さんとともに参加できることを大変うれしく思います。

私は、第7回の大会以来、ジャンボリー会場を訪れていますが、毎回、若い人達が、様々な活動に真剣に取り組んでいる姿に感銘を覚えます。

今回の大会では、40をこえる国と地域から多くのスカウトの参加を得て、数多くの活動が計画されていると聞いています。

皆さんが、富士山を仰ぎ見るここ朝霧高原の豊かな自然の中で様々な活動に参加し、多

くの人との交流を通じて相互理解と協調性を養い、さらに国際的な視野を深めることは、大変意義深いことであります。

私自身、かつてこの地で開かれた第2回日本ベンチャー大会では、スカウトの皆さんとともに富士登山に参加したことを、貴重な体験としてなつかしく思い出します。

世界のスカウト運動は、すでに1世紀に及び、多くの歴史を刻んできておりますが、ここでもう一度スカウト運動の創設者ベーデン-パウエル卿の“Looking Wider”の言葉が示す、広い視野と高い志を持つことの大切



さに思いを致し、スカウト運動の更なる伸展を通して、世界の青少年の健全な育成がはかれることを願い、開会式に寄せる言葉といたします。

# 国際交流

第15回日本ジャンボリー参加外国隊ホームステイ

## 受け入れスカウトの体験報告

ホームステイの人が来た！ 八千代・習志野地区 習志野第2団 カブスカウト隊 笠原 一哲

ある日、お母さんから「香港の人が家に来てもいい？」と聞かれました。ぼくは「来てほしい！」と答えました。いつもぼくはお客様が来てほしいなと思っていました。だから、すごくワクワクしていました。

迎えに行くと、ウォンさんと言う人が来ました。香港隊の女性のリーダーです。会った時はちょっと話づらかったです。なぜかという、日本語が全然通じないと思ったからです。

一番楽しかったことは、浅草の雷門に行って、おみくじをひいたり、色々なお店を回ったことです。おみくじでは、僕と弟は凶がでましたが、ウォンさんは吉が出たので良かったなと思いました。

あと、一緒にスカウトショップに行ったり、夜家の前で花火をしたりしました。

ウォンさんは、簡単な日本語はすごく上手でしたが、難しい日本語はまだわからないみたいです。ぼくは、ほとんど英語の指差し会話集でコミュニケーションをとりました。あと、ノートに漢字で書いたり、絵で書いたりして、伝えたり、身振りで伝えたりしました。ちょっと難しいかとも思いましたが、意外と簡単でした。全部通じました。

帰るときは、泣いてしまったけど、あとで、帰るときにいっぱい泣くほど、楽しかったんだなと思いました。

3日間とても楽しかったです。ぼくは、これから英語を勉強して、香港に旅行に行きたいなと思っています。ウォンさん来てくれてありがとう。



初めてのホームステイ受け入れ 松戸・鎌ヶ谷地区 松戸第6団 カブスカウト隊 久保田 清明



初めてホームステイを受け入れました。ぼくの家族には、サリーさんという、香港第2隊の女性のリーダー（副長）が来ました。サリーさんに初めて会った時、日本人に見えました。でも、日本語をしゃべれないので、びっくりしました。

ホームステイ2日目に、母とサリーさんは着物を着て、3人で戸定邸に行きました。戸定邸は、江戸幕府最後の将軍の弟が明治時代に建てた、とても古い家です。サリーさんには、日本文化の体験をしてもらいました。戸定邸の中は、小さい部屋がたくさんあって迷路のようで、サリーさんもびっくりしていました。説明のプレートが日本語だけだったので、母がとても苦労して、へたな英語でサリーさんに説明しました。

その日の夜、香港にはない、コロケとゴーヤチャンプルを母とサリーさんが作りました。ゴーヤは中国語で「フークワツ」ということをサリーさんが教えてくれました。コロケとゴーヤチャンプルはとてもおいしかったです。サリーさんも喜んでおかわりしていました。

お別れの日、電車で成田まで、サリーさんを送りました。ぼくは、サリーさんと仲良くなったので、もう少しいてほしくて、とても悲しくなって、なみだが出てきました。

今回はうまく英語を話せなかったのも、英語をもっと勉強して、いつか、サリーさんが住んでいる香港へ行ってみたいです。

ホームステイうけいれの感想 東葛地区柏第7団 カブスカウト隊 中村 雄太

ぼくの家に香港からボーイスカウトがホームステイにやってきました。

香港スカウトの名前は、アルフィ君とケン君でした。最初、僕が「こんにちは」といったら、お兄さんたちは日本の言葉で「こんにちは」と返事してくれました。僕は日本語が通じてよかったなと思いました。なぜならぼくは英語がしゃべれないので言葉が通じるかが心配だったからです。

1日目はとても疲れているみたいだったのでお風呂の入り方を教えてあげて、おやすみしてもらいました。

2日目は午後から他の香港スカウトと一緒に活動しました。まず電車に乗って東京スカイツリーに行きました。未完成なのに大きかったです。香港スカウトは一杯写真を取っていました。この後浅草に移動し

て人力車にのったりお土産をかったりしました。香港スカウトはとってもうれしそうでした。この後家に帰ってホームパーティをしました。日本のご飯を食べることができると心配だったけどいっぱいたべていました。

最後の日は柏駅に見送りにいきました。そのときに浅草で買った扇子をプレゼントしたら、「ありがとう」と日本語でお礼をもらえたのでとてもうれしかったです。

駅で見送った時は長いと思った3日があつという間におわってしまって、さびしかったです。

僕もボーイ隊に上進したら、ホームステイがしたいです。その時はその国の言葉を勉強して風景とか食べ物とかを一杯見たいです。



## 県内各地区の隊活動便り

### かずさちく ビーバーまつり

上総地区 東金第1団 ビーバースカウト隊 鈴木 陸生

4月11日にビーバーまつりがあった。かずさちくからぼくたちいかいのビーバーのともだちもあつまった。ぼくは、とてもドキドキ、わくわくした。

まず、せかいのくにのグループにわかれた。あぶり出しカードでぼくは、かんこくが出た。はじめてあう友だちでさんちょうしたけれど、すぐなかよくなれてうれしかった。



すごろくゲームやしんけいすいじゃくでは、グループのみんなときょうカして、しれいにこたえてゴールまでがんばったり、おなじえがどこにあるかわからなくなると、「こつちだよ。」とグループのなかがおしえてくれたりして、ねっせんでたのしかった。



おひるのあと、じしんさいがいのはなしやげきを見てべんきょうした。ビューティフルサンデーもおどった。たくさんのビーバーの友だちとあえて、たくさんのありがとうができたたのしい一日になった。きねんのワッペンもうれしかった。きょうあえた友だちとまたあえたらいいなあ。

### 夏季キャンプに参加して

香取東総地区 香取第2団 カブスカウト隊 しか 若林 佑弥

僕は8月7日から行われた香取第2団の夏季キャンプに参加しました。そこで僕が楽しかったことを、4つ紹介します。

1つめは、筑波山登山です。はじめは全員で女体山に登りました。登る時は暑くてとても大変だったけど、山頂から見る景色はとてもきれいでした。少し休憩した後、「元気があんなら男体山にもチャレンジするか?」ときそわれ、登ってみました。くたくたになったけど帰りに入ったお風呂がとても気持ちよかったです。



2つめは、その日の夜の花火大会です。たくさん花火が用意してあって、リーダーや参加したメンバーとみんなでやりました。



た。特に打ち上げ花火がとてもきれいでした。

3つめは、カレー作りです。2日目の昼食を自分たちで作りました。朝9時すぎから必要な道具や

材料を組のメンバーで話し合っ、どんなカレーにするか決めました。僕たちは玉ねぎをたくさんみじんぎりにしてあめ色になるまでいためました。時間はとてもかかってしまったけどすごくおいしくできました。普段は自分で作ったことがなかったので心配だったけどおいしく作れてうれしかったです。

4つめは、すいか割り大会です。僕は割れなかったけど、組のメンバーが割りました。すごいなと思いました。すいかはあまくてよく冷えていて、とてもおいしかったです。

短い期間だったけど充実していてとても楽しかったです。

### 大いそがしだった今年の夏

千葉地区 千葉第27団 ボーイスカウト隊 多田康一郎



今年の夏は大いそがしでした。一番大きな行事はなんといっても朝霧高原で開かれた第15回日本ジャンボリーですが、ジャンボリーから帰っ

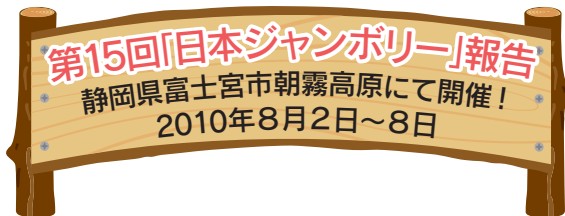
てすぐの、8月15日の終戦の日には、千葉県忠霊塔で毎年行なわれている忠霊塔拜礼式の奉仕に参加しました。そして、8月25日には菊章スカウトの千葉市表敬訪問がありました。

ラストのイベントは隊の夏キャンプで、8月26日から29日まで市原市民の森に行きました。隊の夏キャンプは、夏休み

の終わる直前となって高校受験を前にして上級生の参加が少なくなり、下級生中心に男子5人、女子5人の10人で行なわれました。

2日目のプログラムは、暑い時間を避けてまだ暗いうちに起きて出発するハイキングでした。市原市民の森を出て、大福山、梅ヶ瀬溪谷、女ヶ倉とまわって、キャンプ場に帰りついたのはお昼過ぎです。汗がたくさん出て顔が真っ赤になって帰りましたが、副長が用意してくれた、よく冷えたスイカがとてもおいしかったです。また最後の日のキャンプファイヤーには、ベンチャースカウト隊もサイクリングでやって来て盛り上がりました。





# 朝霧高原に約2



## 15NJに参加して

千葉3隊 惟村 光 (千葉地区 千葉第25団 ベンチャースカウト隊)

初めて、日本ジャンボリーに参加しました。一番印象に残った活動は、他の隊との交流です。15NJに参加するまで同じ地区内で交流したことは何回かありますが、他の地区や他の県と交流したことはありませんでした。今回のジャンボリーでは全国からスカウトが一気に朝霧で集合したため、多くのスカウトと交流するチャンスが生まれました。そこで僕達はその滅多にないチャンスを活かす少しでも友達を増やすため、他隊との交流を積極的にしていきました。僕達がスカウトに話しかけると、スカウトはみんな優しく応じてくれました。サインやグッズの交換、時には連絡先の交換もしました。最終日、そんな人達に逢えなくなると思うと寂しくなりました。

## 15NJに参加して

千葉4隊 高倉 颯汰 (香取東総地区 旭第2回 ボーイスカウト隊)

僕は香取東総地区の代表として静岡県朝霧高原へいってきました。ジャンボリー会場は広大で、日本全国から集まった多くの仲間たちの多さに驚きこれから過ごす貴重な9日間に胸を膨らませていました。

プログラムに参加するため毎日ひたすら歩き続け、雨とぐしゃぐしゃの道、炎天下に日々体力の限界と戦っている感じで、肝心のプログラムはといてあまり覚えていません。

ジャンボリーに参加して、ほくは「協力すること」の大切さを学んだような気がします。自分では出来ないことも、みんなと力を合わせればできることがあったからです。ひとりの力では限界がありますが、仲間と力を合わせれば大きなことが出来ます。

今回の体験を生かして、世界に向かってでっかくはばたけるようになりたいです。

## 15NJを振り返り

千葉5隊 佐野 翔 (印旛地区 富里第1団 ベンチャースカウト隊)

9日間のキャンプ生活を終えた今、15NJを振り返ってみて、思うことが3つあります。

まず1つが自分を成長させるには、自発的な行動をとること。自分になりたい、やってみたいことを思い切ってやってみることこそが一番自分を成長させてくれます。2つ目は、意識の切り替えでレベルアップ。要するに、やる時とやらない時の心のスイッチを切り替えて、1つ上の楽しさ、嬉しさを感じるということです。最後に3つ目。楽しい時間はあっという間に終わってしまうということ。今しか出来ない、自分にしか出来ないことを後悔しないようにやり抜く。15NJから教わったことを、これからは活かしていきたいです。

# 2万人が集う! “Looking Wider”



## ソーメンで交流会

千葉8隊 菅原 遥香 (船橋地区 船橋第7回 ベンチャースカウト隊)

私達千葉8隊は、派遣隊リーダーの宿泊する前がテントサイトでした。

朝は、外国リーダーの挨拶から始まり、そのお陰かあまり馴染みのない国のリーダーともふれ合う事が出来ました。

6日にはシンガポールとスコットランドのスカウトを、お昼に招待し、そうめんを準備して食べて貰いました。

片言の英語でもどうにか会話は成立。

その後、椅子取りゲームや、短冊に平和のメッセージを書いて貰って笹に飾ったりして、あっという間のひと時でした。

帰る時は、兜や毬を折り紙で折ってプレゼントしました。

9日間の楽しい思い出の一つです。

外国人との交流はやっぱり楽しい!

## イギリス隊との交流

千葉10隊 高橋 拓也 (市川・浦安地区 市川第3回 ベンチャースカウト隊)

班でイギリスのボーイスカウトと交流しました。近くに、愛媛県などのスカウトもいたので一緒に交流しました。みんな積極的に話しかけていました。みんな、イギリス人からキャップにサインをしてもらっていました。他県の人と話している人もたくさんいました。

午後の2時30分ぐらいになったら、オーシャンサイトへ戻り始めました。アリーナ付近で、イギリス人の友達と滋賀県の隊の人に会いました。イギリス人と話している人や、滋賀の人と話している人もいました。

## 15NJに参加して

千葉第11隊 吉野 匡彦 (八千代・習志野地区 八千代第2回 ベンチャースカウト隊)

参加前、自分にとって2万人ものスカウトが集まる15NJは想像も出来ない未知の世界でした。

実際に参加して、やはりまず人の多さにビックリしました。

サイトから一步出れば、必ず他県のスカウトとすれ違い、挨拶を交わす。自分にとってはこの些細な事がとても新鮮で感慨深いものでした。

自分は外国人スカウトと会うのも初めてだったので、会って言葉を交わす事が出来てとても嬉しかったです。

またサブキャンプ内での交流会にも参加し、初めて会う仲間たちと楽しく笑いあいがらとても充実した時間を過ごすことができました。

最後に15NJを支えてくださったリーダーやベンチャー・ローバー奉仕隊の方々に深く感謝します。

本当にありがとうございました。



12隊



14隊



朝のセレモニー



17隊

**多くの友と交流して**

千葉13隊 佐藤 喜生 (東葛地区 柏第10回 ベンチャースカウト隊)

僕は第15回日本ジャンボリーに行けてとても良かったと思っています。

その理由は、他県のスカウト達と話ができて、グッズの交換ができたからです。

実際に、僕は遠いけれど岩手2隊のスカウトと友達になれました、とてもうれしかったです。

正直な気持ち、それまで僕は他県の人との交流をあまり望んでいませんでしたが、岩手のスカウトと友達になれたことにより、交流会とかがとても楽しみになりました。

ジャンボリーが終わらなければ、もっとたくさんさんの友達を作りたいかったです。

自分はベンチャーなので、今後企画し他県のスカウトハウスでも行こうと思っています。

このようなジャンボリーを開催してくれた方にとっても感謝しています。



16隊



香港隊と交流



静かな湖班?



19隊

**15NJに参加して**

千葉14隊 福住 拓磨 (北総地区 流山第3回 ベンチャースカウト隊)

僕は千葉14隊のベンチャーとして参加した。ベンチャーの主な仕事はボーイ班のサポートであった。

僕はI班の担当になった。しかし班員に溝があることがすぐに分かった。指示を出して遊ぶ女子と、指示を聞かない男子である。

班長は真面目に働いており、注意もしていた。しかし現状に悩んでおり、寝込んだこともあった。僕も取柄に当たった。それによってか班員の溝も小さくなり、終わる頃には指示が通って班員が働き、班として機能していた。

ジャンボリーで嬉しかったこと、それは班長の指示を班員が聞き実行するという本来の形にI班を戻すことが出来たことである。僕はこれが出来たから今回のジャンボリーに参加できて良かったと思う。

**香港のスカウトとの交流**

千葉17隊 飯田 大志 (松戸・鎌ヶ谷地区 鎌ヶ谷第2回 ボーイスカウト隊)

先輩といっしょに香港隊サイトへ行くのには、勇気がいりました。行ってみたら、香港のスカウトが優しく出迎えてくれました。下手な英語で、自己紹介をし、名刺や記念品の交換、日本の硬貨を見せ、おしゃべりをしました。途中で英語が話せなくなったり、話しても途切れがちでしたが、先輩が助けてくれました。その時「先輩ってすごいな」「香港のスカウトってけっこう優しいんだな」と思いました。

後日また、香港隊スカウトと交流するチャンスが来ました。今度は、17隊で行くことになり、香港のスカウトも人数が増えて、前に行った時よりも、笑顔も会話も増えました。隊長もとても上手に英語を話していて、少しびっくりしました。香港のスカウトは、みんなニコニコしていて、背が高く、とても明るい雰囲気、心が和みました。

15NJに参加して、富士山や夜の星、みんなで見た虹、朝霧の景色に感動しました。すばらしい仲間や、先輩、リーダーと出会えて、本当によかったと思います。

**15NJ参加にあたって**

千葉19隊 片岡 巧 (上総地区 茂原第2回 ベンチャースカウト隊)

この15NJに参加して、僕の最初に思った感想は「大変だった」です。

僕は14NJにはボーイスカウト隊として参加した経験があり、その時は毎日楽しく過ごしていたのを覚えています。しかしながら今回の15NJの役務は、自隊でも経験のしたことのない上級班長の仕事でした。

上級班長としての仕事をこなしていくうちに、プログラムをいくつか逃してしまいました。

それでもやはりジャンボリーはジャンボリーであり、開会式、大集会、閉会式はかなりの盛り上がりがありました。その時に思いました、「ああ、やっぱり参加できてよかった。上班の仕事ががんばってみよう」と言う気持ちにさせてくれました。

また次も参加したいなと思いました。

ジャンボリーありがとう！ 弥栄！ 弥栄！！ 弥栄！！！！



### 過酷な環境を笑顔で乗り越え

千葉20隊 地曳 周嶺 (南総地区 木更津第2回 ベンチャースカウト隊)

空は厚い雲に覆われ、どこに富士山があるのかもわからないまま始まった15NJ。序盤は雨に打たれる我慢の日々となりました。「あと何日あるの?」そんな不安を抱いて過ごした雨の夜を、私たちは励ましあいながら乗り切り、そして、次の日の朝には青く気高くそびえ立つ富士山を目にします。私たちの暑い夏の始まりでした。プログラムを通して学んだ地球環境に共生する術、海の向こうまで広がった友情の輪。あいさつを交わすだけで友達になれる、そんな日を私達はどれほど楽しく過ごすことができたでしょうか。過酷な環境を笑顔で乗り越えることができた私達はどれだけ成長したのでしょうか。派遣隊員の各隊での活躍を、今後も見守って頂きたいと思えます。



### 15NJに参加して

千葉5隊隊長 上代 繁 (印旛地区 四街道第2回 ボーイスカウト隊長)

ずぶ濡れの開会式、ぬかるみの中の移動、シャワーの故障による利用人数の制限など、スカウトにとって精神的につらい出来事が前半にありました。後半は、昼間に富士山が全容を現し、夜には満点の星がきらめく日もありました。天候の回復とともにスカウトのモチベーションが上がりました。プログラムばかりでなく、埼玉13隊、愛媛5隊、ロサンゼルス隊、愛知36隊など、積極的に全国のスカウトと交流し、友情を深めることができました。今後は、15NJで体験したこと、出会った人、感動したことなどを、スカウトたちが自分の言葉で、隊の仲間や学校の友達、地域の方々に伝え、ボーイスカウト活動の魅力を広めていってほしいと願っています。

### 15NJに参加して

千葉15隊副長 福島 裕子 (松戸・鎌ヶ谷地区 松戸第1回 ボーイスカウト副隊長)

初めて日本ジャンボリーに参加し、「班制教育」が良く分かりました。長期キャンプ生活の中で、野営・炊事の技能、体力、そして何よりも班長のリーダーシップやスカウト同士のコミュニケーション能力が重要だと痛感しました。班長としての重圧から悩むスカウト、疲れから熱を出すスカウトもいましたが、苦しい中でもなんとか自分を立て直して班の活動に戻ろうとする努力、具合の悪いスカウトを心配する仲間、それぞれが精神的成長に繋がる経験をしたと思います。3年後の日本ジャンボリーにも、自隊スカウトが大勢参加して思いっきり楽しんでこれるよう、今後、隊での自分の目標を持つことが出来ました。隊長・副長、何よりスカウト達に感謝します。本当にありがとうございました。

### 15NJに参加して

千葉20隊副長 赤羽根 昭男 (南総地区 館山第1回 ボーイスカウト隊長)

今回はプログラムに関する情報伝達の遅れにより、必要な持ち物の準備に余裕がない中での参加であった。しかし、スカウト達はそのハンディを見事乗り越え多くのプログラムに挑戦し、毎日そのことを目を輝かせて聞かせてくれた。

一方、健康と安全に配慮したが残念ながら熱中症のスカウトを出してしまった。いちばんに思い出すのは5日のサンライズセレモニー。スカウトと共に日の出を迎える数分間、徐々に明るくなり顔を出す瞬間、自然発生的に歓声が上がって喜びを分かち合ったことです。

# ゲット!!

# 富士章・千葉県連盟隼章・菊スカウト章 取得スカウト

平成22年2月24日～平成22年8月17日

富士章				菊スカウト章				菊スカウト章				菊スカウト章			
杉森 峻	松戸	6団		井口 遥希	松戸	6団		箕和田 祝子	流山	5団		田中 優貴	野田	1団	
三宅 敦子	流山	2団		山崎 慧	千葉	22団		阿久津 真樹	流山	5団		佐々木 雄介	野田	1団	
平山 秀	千葉	15団		岡本 拓磨	千葉	6団		伊藤 健	流山	5団		高橋 謙太	千葉	6団	
富川 優	習志野	2団		尾崎 菜緒	千葉	6団		藤本 華苗	大網白里	1団		長田 環	千葉	27団	
菱木 奈津美	富里	1団		小林 哲大	習志野	2団		井原 綾子	市原	6団		大杉 幹	千葉	27団	
				大泉 峻	習志野	2団		中川 夢乃	市原	1団		齋藤 詩織	千葉	27団	
				木下 萌美	千葉	1団		中村 愛美	野田	7団		若林 華奈	千葉	27団	
				大久保 幹子	千葉	1団		薄井 諒介	鎌ヶ谷	1団		川相 拓也	千葉	27団	
				石橋 佑太	千葉	1団		林 里奈	鎌ヶ谷	1団		池田 直道	柏	7団	
				竹腰 志帆	千葉	13団		黒坂 公恵	流山	3団		伊藤 舜	柏	9団	
				山本 彩恵	市原	3団		矢野 瑛	我孫子	2団		高橋 滯奈	流山	3団	
				牛田 涼	市原	3団		高岡 真由	松戸	5団		林 俊太郎	流山	3団	
				吉澤 航	市原	3団		湯場崎 輝	松戸	5団		鈴木 諒	流山	3団	
				北川 健一	市原	3団		中右将 太郎	鎌ヶ谷	2団		島谷 美輝	浦安	2団	
				大口 優里	船橋	3団		小林 太一	八千代	4団		石原 諒太	浦安	2団	
				齋藤 豪人	船橋	3団		佐々木 直也	習志野	2団		西尾 礼央奈	柏	7団	
				大木 唯	船橋	3団		相田 樹	印西白井	2団		佐藤 勇希	浦安	2団	

千葉県連盟隼章			
若林 千陽	柏	1団	
土屋 雄輔	市原	3団	
大倉 成	柏	1団	
武田 英香里	柏	1団	

菊スカウト章			
藤沼 創太	野田	1団	
須藤 柚稀子	松戸	6団	

## 第22回 千葉県連盟隼章受章スカウト知事顕彰会

3月29日千葉県庁本庁舎多目的ホールにて、千葉県連盟隼章受章スカウト14人、富士章受章スカウト9人(重複1人)が出席し、坂本副知事、鬼澤教育長、田久保県議ほかのご臨席をいただき知事顕彰が執り行われた。



### 千葉県連盟隼章を取得

北総地区 野田第1回 ベンチャースカウト隊 浦辺 賢吾

私は富士章取得に向けての1つのステップとして、千葉県連盟隼章にチャレンジしました。高校進学と同時に本格的に活動を始め、高校2年の冬に取得することが出来ました。



弥栄三唱：浦辺賢吾君

1番大変だったのがアワード章(得意分野の探究)取得で、去年の夏、北総地区のスカウトが協力し野田市の関宿滑空場でグライダーの基礎訓練を受けました。グライダーパイロットや元JALの機長のご指導の下、大変有意義な活動でした。

自分たちで1から活動を企画・計画・実行して報告することは初めての経験でしたが、特にレポートをまとめる時、分かりやすく表現するため資料や写真収集等、大変苦心しました。

学校の定期テストや行事との両立で苦しい時期もありましたが、多くの方々の支えにより、千葉県連盟隼章を手にする事が出来ました。今後は、後輩達の良き目標になれるよう日々精進して行きたいと思ひます。

### 富士章にチャレンジ

南総地区 富津第1回 ベンチャースカウト隊 宇山 健太

私が富士章を意識し始めたのは高校2年生の夏、グループプロジェクトとして取り組んだ八ヶ岳登山が成功したときからです。ではなぜ私は富士章にチャレンジしようと思ったのでしょうか。私は何か新しいことに挑戦することが好きで、人と同じことをするのが嫌いという性格の持ち主です。ですから本団においてこれまで受章者がいない富士章にチャレンジし、受章するという事は私にとって最高に楽しいやりがらいのある目標だったのです。

そんなわけで富士章にチャレンジすることにした私ですが、さすがは最高章。簡単に受章という訳にはいきませんでした。しかしベンチャー隊長である乗島隊長に様々なアドバイスをいただき、高校3年生の冬ようやく受章することが出来たのです。富士章をいただいたとき、これまで感じたことのない達成感と感謝の気持ちでいっぱいになったことを今でも覚えています。

今後はちかいかおきてを实践し、後輩たちの良き手本となるよう努力していきたいと思ひます。



謝辞：宇山健太君

## 富士章を受章して

八千代・習志野地区 八千代第2回 ローバースカウト隊 浮谷駿宏

「ここまでこれたことに感謝。そしてこれからは本当の勝負!!これが富士章を受章した時の正直な感想です。富士章を受章できたことを本当に嬉しく思っております。取得までには約5年(20歳の誕生日直前まで)という長い年月がかかってしまいました。指導者の皆様や周りの方々にはたくさん迷惑をかけてしまいましたし、非常に手のかかるスカウトだったと思ひます。ですが逆に長い時間かかったからこそ学んだこともその分多いと感じております。4月には首相官邸表敬訪問の代表メンバーにも選出していただくことができました。全国から集まった富士スカウトと活動

していく中でボーイスカウトを続けていてよかった、富士章を諦めなくてよかったと改めて感じ、継続することや人と人とのつながりの大切さ、感謝の気持ち等にも皆で再確認することができました。私はまだまだ未熟者ですし、富士章は通過点であると考えております。これからも今までの経験を生かし、常に向上心を持ち続け成長し続けていきたいと思ひます。また、富士章を受章する過程で得た知識や技能を後輩や世の中のためにお返ししていくことが、自分の使命だと考えています。最後になりましたがこれまで自分を支えてくださった皆様に心より感謝いたします。



首相官邸表敬訪問を報告 淳君(左)と浮谷君



# 第2回富士章受章スカウト顕彰会・第7回プロジェクト発表会

平成22年5月9日(日) 千葉県青少年女性会館



おきての唱和(窪 和隆君)

昨年度から県連盟にて実施されている富士章受章スカウト顕彰会が、県連盟こぞってお祝いをする会として今年も開かれました。

当日は、先輩である平成21年度ローバームート議長の岩松剛君(八千代第2団)から、体験談や抱負のメッセージを頂きました。

県連盟役員との会食では、役員からスカウト時代のお話や印象に残っていること、指導者になってからの身近な経験をお話し頂き、スカウト達からの質問もあり、緊張の中にも和やかな雰囲気でした。

顕彰会に出席したベンチャースカウトも、進歩に対する意欲が高まったことでしょう。



受章スカウト紹介



受章スカウトのいやさか返礼



富士章記念品授与

第2回  
富士章受章スカウト顕彰会参加スカウト

西川 郁那	市川 第3団
阪田 麻未	君津 第2団
吉田 悠人	富里 第1団
宇山 健太	富津 第1団
浮谷 駿宏	八千代第2団
和田 麻央人	船橋 第9団
窪 和隆	四街道第1団



吉田君



阪田さん



宇山君



岩松君



和田君



窪君



浮谷君



西川さん

## 富士プロジェクト発表会

富士章を受章した富津第1団の宇山健太君が、グループでのプロジェクトに対する取り組みについて二人のグループメンバー竹井祥子さん、平野琢己君と共に、テーマ選定のきっかけから、目的と目標、企画書、計画書、報告書のまとめ方、記

録の取り方、指導者とのかかわり方等を発表しました。

特に、目的は一つだが、目標はグループの目標、そこから更に個人の目標が設定されるプロセスを明確に図式にしてプロジェクトで説明し、後輩スカウトの理解につながるレベルの高い発表でした。

この後、分科会形式で参加スカウトと富士スカウトとの話し合いがあり、個々の持つ疑問点等がクリアにされたと思われます。

有意義な発表会でしたが、ベンチャースカウト、指導者共に参加者の少ないのが残念です。次回からは多くのスカウト、指導者の参加を期待します。



プロジェクト発表会会場



増田県連盟コミッショナーから  
激励の言葉



プロジェクト発表会  
富津第1団 ベンチャースカウト隊



分科会会場



まとめ、講評  
増田県連盟コミッショナー



記念撮影



発表を傾聴・注視するスカウト



# 平成22年度 千葉県連盟年次総会報告

千葉県連盟 事務局長 星 淳一



平成22年度の年次総会が、6月6日(日)成田国際文化会館で開催されました。

会議の後、講演の部では成田山新勝寺の山崎照義僧正に、「いのち尊し、いかせいのち」と題してご講演いただきました。

また式典の部では、四街道第1団ベンチャースカウト吉田悠人君によるおきての唱和に続き、月岡千葉県教育庁生涯学習課長、小泉成田市長からご祝辞をいただきました。その後、第15回日本ジャンボリー千葉県連盟シンボルマークの入選者の表彰はじめ、各種の伝達や表彰が行われました。

式典後の日本連盟表彰受章者を祝う会には、小泉成田市長、蔵佐倉市長も出席され、大変和やかなうちに弥栄三唱により散会しました。今回の総会が成功裏に終わることができましたのは、地区を挙げてご協力いただいた印旛地区の皆様のおかげで、あらためて感謝申し上げます。



# 千葉「そなえよつねに」第8回災害準備大作戦実施報告

災害準備大作戦実行委員長 小野寺克文 (流山第4団 団委員長)



4月11日第8回千葉「そなえよつねに」災害準備の日として、北総地区の担当により、野田市山崎にある東京理科大学野田キャンパスを訓練会場として各地災害支援要員・隊指導者・スカウトの他、地元行政

関係者や近隣自治会関係者など総勢209名が参加して行なわれた。

平成7年の「阪神・淡路大地震」では有事に備える大切さを実感させられた。当時全国から駆けつけた多くのボランティアに交じりボーイスカウト・指導者が奉仕活動に当り、スカウトたちの現地での実戦的かつ献身的な活動は各方面で評価され、これを機に災害支援の実体験は継続されている。

今回は、大学等の協力を得て専門知識・火災被害・安全対策などの実践的・効果的な視野での訓練・知識を学んだ。また、世界トップクラスである火災実験棟での燃焼メカニズム・放出エネルギー速度などの燃焼実験を見学し、一般家庭用の火災報知器の設置位置や感知時間の性能実験などを体験した。

# 新 地区だより 東葛地区



東葛地区は昨年地区創立30周年を迎え、記念事業として地区ビーバーランド・くま集会・新任班長集会・地区アタックキャンプ・地区キャンボリーを実施しました。また環境保護・保全をテーマとした松ヶ崎城跡植樹を柏ロータリークラブと協業実施したことでスカウト活動の一端を地域の方々に知って頂く機会ともなりました。

本年6月20日開催した東葛地区ビーバーランドは、平成5年からスタートして第15回になります。ビーバー部門はスカウト運動の窓口として、広く一般の方々に

PRし理解して頂く絶好の機会として、各団の近隣の幼稚園・小学校にチラシを配布し、多くのかたに見学参加を呼びかけました。梅雨の合間の晴天に恵まれ、48人のスカウト、チラシや地区HP、口コミで募集したお友達50人、指導者・保護者を合わせて総勢215人が手賀の丘公園に集いました。

タイトルは「海賊の宝をさがせ!」～パイレーツ オブ 手賀の丘～。

昔は海と繋がっていた手賀沼で現在も生き続ける海賊。彼等の宝箱は勇者に引き継がれます。スカウトやお友達は海賊たちが繰り出す4つの試練(ゲーム)をみんなの力を合わせて見事に宝箱をゲットしました。宝箱を開けるキーワードは「ともだちはたからもの」。本当の宝物はお友達でした。



## 編集後記

この夏、開催された、「第15回日本ジャンボリー」特集として、2頁増の10頁と成りました。限られた紙面にいかに多くの情報を盛り込むか、が難しいところです。各地区よりスカウト1人ずつの11人、全隊から選ばれたリーダー3人の、計14編のホットな報告記事や写真が寄せられました。

なるべく多くの参加者が登場できるよう、全20隊の写真を掲載しています。今号に掲載し切れなかった良い写真は、後日、県連貸出パネルの制作に使用させていただきます。

1頁掲載の「皇太子殿下のお言葉」と写真、サッカーの岡田監督と野口宇宙飛行士の写真は、第15回日本ジャンボリー広報部発行の『ジャンボリーニュース』より転載させていただきました。

編集長 上野 孝

	団数	隊数	団委員	指導者	スカウト	計
登録数	12	58	162	231	514	907

(加盟登録状況)平成22年7月末日現在